

1. はじめに

アラム文字。世界史を勉強しているなら、一度は耳にしたことがあるだろう。アラム文字とは、西アジアのアラム人が最初に使用した文字である。皆知っているようにアラム文字（アラム語）は、前9世紀ごろに国際商業語になるほど普及し、各地に伝播して東方系の多くの文字の母体となった。アラム文字から派生した文字として、ヘブライ文字・シリア文字・アラビア文字・ソグド文字・ウイグル文字・モンゴル文字・満州文字などたくさん挙げられる。

2. アラム文字が普及した理由

どうしてこれほどまでにアラム文字が普及していったのかについて、アラム文字とアラム語をひとつくりにして考察していく。今回は3つの考えを述べる。

(1) アラム人の商業と交易

アラム語が国際商業語であったことからわかるように商業活動による交流によって広まった。アラム人は古代から中東地域で商業の要所に位置していたため、異なる地域や文化との共通のコミュニケーションの手段が必要だったのだ。内陸都市の中継貿易、ラクダを使ったキャラバンは有名であろう。これは、アラム人の独壇場であった。なので、政治的に敵対してアラム人を服属させたアッシリア王国もこれに依存していた。他にも、アッシリア王エサルハドンのエジプト遠征も彼らの協力がなければ、不可能であっただろう。

(2) フレキシブルなアラム語

少し複雑なのだがアラム語がとても柔軟で他の言語に適用できたからだ。柔軟というのは、具体的に言うと音韻体系が多様であったのと、語彙の借用が多かった、ということだ。まず音韻とは、言葉を作るための音のパーツのようなものだ。日本語は、子音と母音からできている。例えば、「ねこ」は「ね」と「こ」の二つの音から成り立っている。この「ね」と「こ」が音韻だ。時代によって異なるが概ねアラム語は、20以上の子音と9種類程の母音からできていた。そのため、たくさんの異なる音を表現することができ、異なる言語の音や音節にも適切に対応することができたのである。また、語彙の借用が多かったことがあげられる。アラム語はほかの言語から語彙を借用することが一般的であったので、異なる様々な言語の概念や用語をアラム語に取り入れることができたのだ。

(3) 権力の存在

アラム語を使っている人の経済力と権力の大きさが重要だ。アラム語は紀元前8世紀ごろに、エジプトを除くオリエント世界で最も使われていた言語であり、その中には様々な権力者がいた。例えば、新バビロニア王ネブカドネザル2世もその1人だ。彼は、公式文書や碑文にアラム語を使用していた。さらに、アラム語はオリエントを統一したアッシリアやアケメネス朝ペルシャの公用語になっていたことも大きな要因だろう。

3. アラム語の衰退と宗教

しかし、7世紀以降アラム語は衰退していく。その理由として、アラム語は『旧約聖書』の一部で使われているくらいキリスト教と関連の深い言語であったが、アラム語を

使用していたコミュニティがイスラム教の影響を受け、アラビア語の需要が高まったからと私は考えた。ここから、アラム文字が宗教と密接に関係していることがわかる。他にも、シリア教会では教育から宗教的な儀式や礼拝までアラム語が幅広く使われていた。これらの側面により、アラム文字は宗教的な文化や伝統を遂行するのに欠かせない存在となった。

4. 結論

結論として、アラム語（アラム文字）が広まった理由はアラム人が商業の中心地に位置していて商業活動が活発であり、異なる言語の人々と共通のコミュニケーション手段を持つためと、アラム語（アラム文字）が他の言語からの語彙の借用や多様な音韻体系や文字体系を持っていたことにより、他言語への汎用性が高く、各種言語に適応することができたから。さらに、ネブカドネザル2世などといった支配者層がアラム語を使用していたこと。オリエント統一を果たしたアッシリアやアケメネス朝ペルシャといった権力の強い国の公用語になっていたこと。ほかにも、『旧約聖書』にアラム語が使われていたり、シリア教会では様々な場面でアラム語が使われていたこと、そして7世紀にイスラム教がオリエント世界で台頭するようになりアラビア語の需要が高まり、アラム語が衰退していったことをみると、宗教的側面からの影響はとても大きかったと考えられる。これらの要因が合わさり、アラム文字はオリエント世界で広まり、様々な文化的・商業的・宗教的な文脈で使用されるようになったと考察した。

参考文献

桑原俊一（2009）「文字の起源—古代オリエントの文字からギリシア・アルファベット文字へ—」『北海学園大学人文論集』（42）

スティーブン・R・フィッシャー/鈴木晶（訳）（2005）『文字の歴史』研究社

渡辺和子（2000）「メソポタミアの文字の歴史」『四大文明メソポタミア』NHK出版
「世界史の窓」『アラム文字』<https://www.y-history.net/appendix/wh0101-061.html>
「世界の歴史まっぷ」『アラム文字』
<https://sekainorekisi.com/glossary/%E3%82%A2%E3%83%A9%E3%83%A0%E6%96%87%E5%AD%97/>